

ひまわり会および理事会

ひまわり保育園の開園に当たり、これまでひまわり保育園に関わってくださった保護者、職員、理事の皆さま、そしていつも力強く支えていただいた地域の皆さまに感謝申し上げます。

設立当初から多くの方に必要とされてきたひまわり保育園は、時代の変化の中でこれまでの役割を終えたとも言えると思います。

1972年（昭和47年）に産休明け保育所として開所され、以来47年間この地域の保育の一端を担い続けてきました。開所当初は公立や近隣の法人保育園での0歳児の受け入れがされておらず、産休明けから子どもを預かるひまわり保育園はなくてはならない存在でした。開所から今に至るまでには、その都度積み重なる問題を一つひとつクリアしてこなければなりませんでした。入園児がゼロとなり経営が立ち行かなくなってしまったことや、度重なる市への要望書そして交渉をへて、保育環境の充実に取り組んで来たことなどその時々みんなに知恵を出し合い協力して今のひまわり保育園が成り立っていることは言うまでもありません。

この地域の中で、バザーやまつりなどの行事を通してつながり続けてきた皆さんとの関係が薄れて行くことになるのはとても残念なことです。子どもを通じて交流できた仲間たちは、同じ悩みや大変さをお互いに分かり合える同志として心強い関係でもありました。

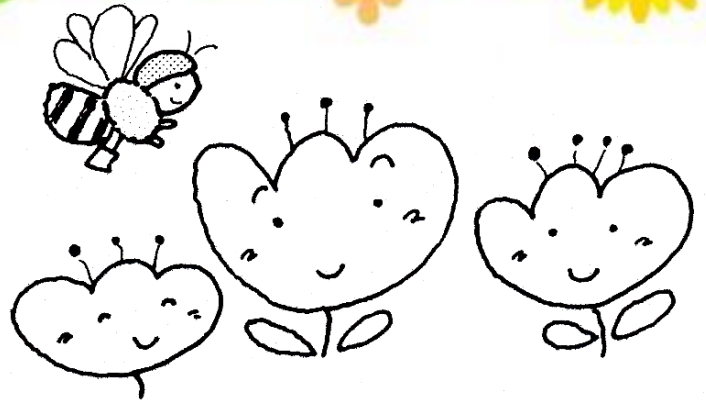
また、ひまわり子どもたちにいっぱい愛情を注ぎ続けてきていただいた職員の皆さまに、本業の保育業務の他にも精力的にお力をいただいたおかげで、毎年卒園の時には子どもや保護者から別れを惜しむ声が多く聞かれ、安心して子どもを預けられる保育園として確立されてきました。

これからの保育行政としてはまだまだ心配な面もありますが、子どもを産み育てる環境がより良くなり、預ける立場も預かる立場もお互いが安心できる充実した制度となるように願っております。

これまで多くの皆さまに支えられてきた「ひまわり保育園」は、形としてなくなってしまうですが、いつまでも心の中であり続けてほしいと思います。

ありがとうございました。

理事長 小木曾 剛士



開所当初のひまわり保育園

2018年度のひまわり保育園

